

## 7月 緩和ケア病棟がオープンします！

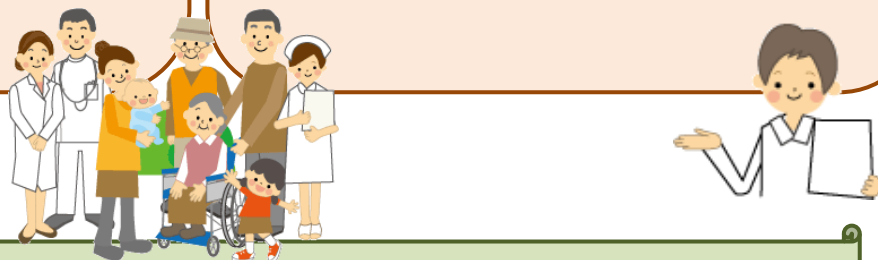
### 緩和ケア病棟とは？

根治できない悪性腫瘍を持つ患者さんに、  
 治癒や延命を目的とせず、患者さん本人が  
 苦痛に感じている症状を緩和するための  
 医療・ケアを提供する病棟です。

患者さんやご家族の時間を大切にし、より  
 満足のいくものにできるよう、様々な職種が  
 一緒になって緩和医療・ケアを提供します。

### どういう人が対象になるの？

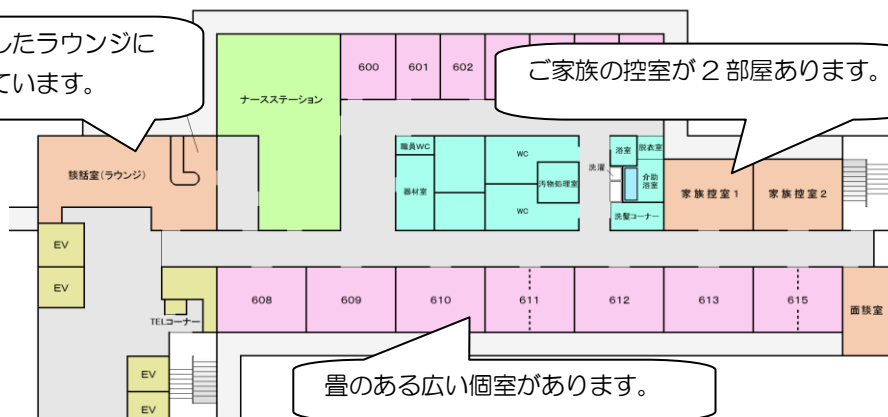
- 緩和ケア病棟への入院を希望している方
  - 原則として手術、抗がん剤治療、放射線治療などの積極的な治療の対象でない方、または積極的な治療を希望していない方
- ☆症状が改善され、状態が安定したら退院することができます。



よりご自宅にちかい雰囲気を感じられるような病棟にするために、準備を進めています。



広々としたラウンジになっています。



ご家族の控室が2部屋あります。

畳のある広い個室があります。

♪ お問い合わせ先 看護部 ♪  
 ♪ ご希望の方はご自由にお持ちください。♪

# 今月の医療

～こんな治療・検査をご存じですか～

## 【早期胃癌と早期大腸癌の内視鏡治療について - 内科 -】

### 日本が世界に誇る内視鏡の技術

医学界では多くの分野でアメリカ勢が幅をきかせています。しかし、内視鏡の領域では日本の医療技術は世界をリードしており、我が国の内視鏡機器は世界シェアの8割以上を占めています。先人の不屈の努力の賜物であり私たちの誇りとするところです。

### 体に負担の少ない低侵襲治療を提供したい

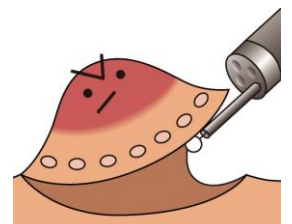
当院では、本年4月からは内視鏡室が2倍の広さに拡張され、世界最新鋭の光学医療機器が導入されました。今回は、新しい内視鏡治療、特にESD についてご紹介します。

### ESDとはどんな技術？

ESD とは、<sup>ないしきょうてきねんまくかそうはくりじゅつ</sup>  
**内視鏡的粘膜下層剥離術**  
(Endoscopic Submucosal Dissection) の略です。

胃・食道に続いて、高度先進医療であった大腸についても健康保険での治療が出来るようになりました。この治療の源流は、ポリープにワイヤーを引っ掛け、機械的に引きちぎるといふ今から考えると原始的な手技でした。やがて高周波電流を通電する手法が開発されました。当時としては革新的でしたが、大きな病変は切除できませんでした。

ESD で使用する医療器具の例



ESDではこんな感じに切除していきます。

### 大きな病変でも何とか内視鏡で切除したい！

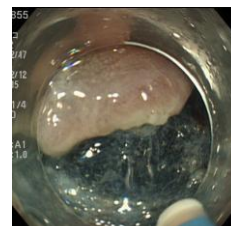
国立がんセンターの小野先生、後藤田先生らは病変の周囲を浅く切開し、続いて粘膜下層を剥離して、大きな病変でも一括切除する手法を考えました。当初は、出血や穿孔で緊急手術となることもあり、見学に来ていた外国人は天を仰いで「Oh, No!」と嘆息し、一時は「これはとても物にならない。」と開発を断念しかけた時もあったそうです。

### 胃や腸を切らずに治せる (かもしれない)

ESD により切除できる大きさに制限がなく、広範な病変でも内視鏡的治療が可能となり、消化管の機能を温存できるようになりました。筆者は、ESD の開発者の一人である慶應大学の矢作先生の元で研修し、この治療と普及に取り組んできました。当院では今後も世界最先端の低侵襲医療を提供してまいります。



このように大きな病変でも…



地道に剥離していくと



ほらこの通り、きれいに切除できます。

内科医長：小濱 清隆

☆当院は紹介予約制の医療機関のため、まずかかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。